



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

市長・議員の渡航費1400万円

高額な海外訪問の説明を

一人に約140万円
市民からは疑問の声

市の親善友好都市との交流や海外の先進事例の調査等を目的として、市長や議員による海外出張がこれまでも行われていましたが、今年度は市長と市議6名を含む10名がハワイ州マウイ郡への訪問が予定されました。

しかし、渡航直前に新聞等で訪問にかかる費用が約1400万円であることが報じられると、市民からネットやSNS上で、物価高や厳しい生活が続く中で、高額な公費を使って多数の議員を海外に派遣することについて、必要性や費用対効果、派遣人数の妥当性などに疑問の声が上がりました。

それでも予定通りマウイへの訪問は行われ、市長側からは市長のSNSや市のホームページ等でマウイ訪問の目的や活動報告が公開されましたが、市議会側からの説明や報告は行われていません。

説明責任果たすべき 議長へ要望書を提出

福山市議団は10月13日、議長に対して「福山市議会が行う海外出張についての透明性確保と市民への説明を行うことを求める要望書」を提出しました。

要望では、市民の疑問に答えるためには、海外出張の必要性や人数、費用、成果を客観的に検証し、市民に分かりやすく公開する制度を整えることが必要であることから、

①一人当たりの概算経費、費用の内訳を事前に公開すること、②速やかに詳細な活動報告を公開すること、③議会内で参加議員から報告と検証を行い、結果を市民に公表すること、④市民からの意見を反映の仕組みを設けること、⑤予算要求する前に、費用の適切性を諮る専門の委員会を設置することを求めました。今後、議会として説明責任を果たすことが必要です。

市長と議員のマウイ訪問予算1,400万円の内訳（1人あたり・概算）

項目	航空運賃 (ホノルル間往復)	燃油 サーチャージ	宿泊費 (ホノルル1泊 ・マウイ4泊)	専用車 チャーター代 (現地移動用)	その他
市長 議員(6名)	55万円 (ビジネス クラス)	10万円	29.3万円	28万円	添乗員分 経費 100万円 (市負担)
職員(3名)	15.3万円 (エコノミー クラス)				
合計	市長分(職員2名+添乗員)			447万円	
	議員分(職員1名)			948万円	

企業会計決算特別委員会報告 公共の役割で生活守れ

10月13日から15日にかけて、市議会では企業会計決算特別委員会が行われ、みよし市議が委員として決算の審査を行いました。

福山市民病院と上下水道局の事業は地方公営企業法の適用により、一般会計とは独立して運営されており、それぞれの事業の状況を審査することが目的です。

病院事業会計 3年連続で赤字

25年度の市民病院の経営状況は、人件費や薬品などの材料の高騰が続ぎ、約8億7千万円の損失を計上し、これで3年連続の赤字会計となりました。病院の収入となる診療報酬には急な物価上昇に対応する仕組みが無く、医療の業務に係る費用を診療報酬で賄えない状況が続いています。

水道事業会計 料金値上げ決定

水道事業も物価高騰による影響を受け、黒字を確保したものの、収支が悪化しています。そのため25年度から水道料金の値上げの検討が始められ、27年度分からの改定が決定しましたが、新たな料金体系では、経費をすべて料金収入で賄うものと考えられ、さらに値上げが繰り返される可能性があります。

工業用水道事業 渇水でも優先確保

25年度は例年と比べて降雨量が少なく、ダムの貯水量が少ない期間もありましたが、福山市の工業用水は芦田川の水位が減少している状況でも、河口堰によって堰き止められた水を取水できるため、工業地帯へ安定的に供

給し、収益は増加しました。一方、海へは川の栄養が供給されないため、海洋環境の悪化を招いています。工業用水事業による環境悪化は、事業の収益で改善策を行うべきですが、実施されていません。

2会計決算に反対

市議団は病院事業、下水道事業、集落排水事業の決算認定に賛成し、水道事業、工業用水事業の決算認定に反対しました。

【25年度各事業会計の決算の状況】（100万の位で四捨五入・単位：円）

会計	収益	費用	収支
病院事業会計	235億	243億7千万	△8億7千万
水道事業会計	83億8千万	74億7千万	9億1千万
工業用水道事業会計	31億2千万	24億7千万	6億5千万
下水道事業会計	117億	106億2千万	10億8千万
集落排水事業会計	2億8千万	2億4千万	4千万